

「共通投票所」に関するアンケート調査

調査期間: 2016/4/28～4/30
調査方法: インターネットによる調査
調査対象: 新潟県内在住の20～71歳の男女(1,709名)

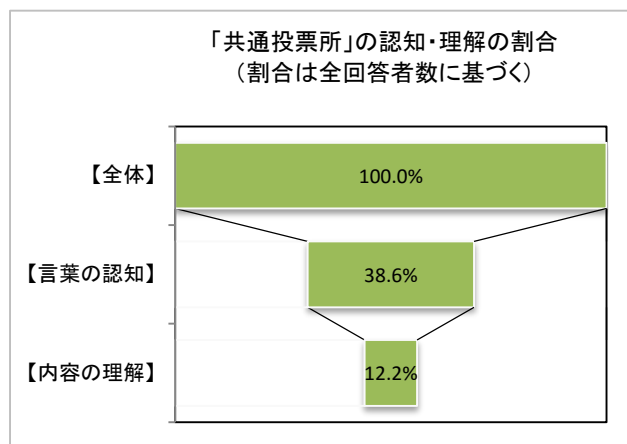
● 調査結果概要 ●

■ 「共通投票所」は、投票率の向上に有効

■ 認知度・理解度の向上が課題

スピードリサーチ社が運営・管理するONES★会員(新潟県内在住者のみ)を対象に調査を行った。

共通投票所について、「内容も言葉もよく知っている」と答えた割合は、1割強にとどまった。「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」が3割弱。「共通投票所」について、まだまだあまり言葉や内容は浸透していないと考えられる。



駅やショッピングセンター等に『共通投票所』が設置された場合の投票頻度について聞いたところ、全体の3割強が「今より増える」と回答しており、投票率向上に期待が持てる。自由記述として主な設置希望場所を聞いたところ、「コンビニ」「ショッピングセンター・ショッピングモール等の複合商業施設」「スーパー」「駅」等が挙げられた。

「共通投票所」の設置は、認知度・理解度の向上や設置場所の検討等、まだ課題はあるものの、投票率の向上・維持に有効だと考えられる。

■ 集計・分析にあたって

1. 図表中の「n」とは回答者総数(または該当者質問での該当者数)のことです。
100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
2. 数値(%)は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともあります。
3. 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で選択肢(文言)を簡略化することがあります。
4. 集計結果については、新潟県の人口構成比(2016年4月1日現在)を反映するために、性・年齢で重み付けをしています(ウエイトバック集計)。本調査結果の回答比率及び回答件数はウエイトバック集計後の数値です。
n値と各選択肢の回答件数の合計は、小数点以下を四捨五入した集計結果のため、一致しない場合があります。

■ 回答者属性

【性別】 男性: 815人(47.7%)、女性: 894人(52.3%)

【年代別】 20代: 94人(5.5%)、30代: 473人(27.7%)、40代: 792人(46.3%)、50代: 293人(17.1%)、60代以上(60～71歳): 57人(3.3%)

■ 回答者属性(ウエイトバック集計後)

【性別】 男性: 861人(50.4%)、女性: 848人(49.6%)

【年代別】 20代以下: 222人(13.0%)、30代: 301人(17.6%)、40代: 358人(21.0%)、50代: 338人(19.8%)、60代以上(60～71歳): 338人(28.7%)

● 本件 お問い合わせ先 ●

株式会社スピードリサーチ (担当: 栗林) 新潟市東区小金町1-7-1 NTT小金ビル
TEL: 025-270-3800 E-Mail: info@speed-r.co.jp

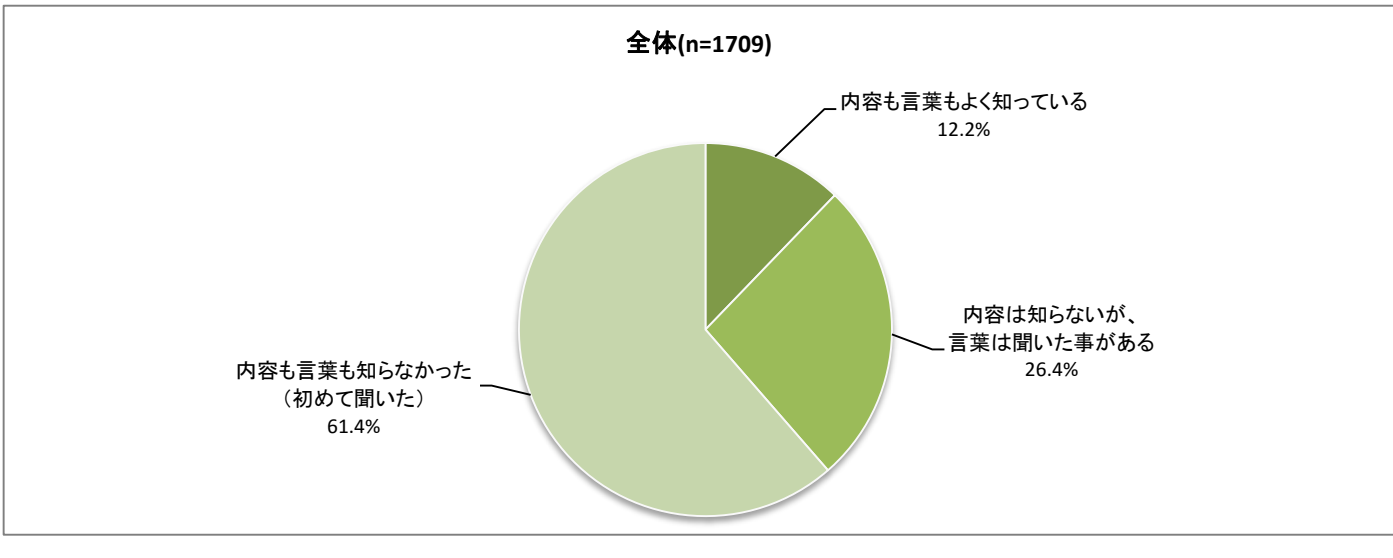
※本調査結果のご使用は原則無償です。ご使用いただく際は、事後報告でも構いませんので、ご一報願います。
※ご使用の際は、調査対象が「ONES★会員」であることをご明記願います(任意)。

Q1.

今月(4月)月上旬に『共通投票所(制度)』などを盛り込んだ、改正公職選挙法が可決成立しました。
あなたは、『共通投票所』について知っていますか？(択一回答方式)

◆ 共通投票所

事前に決められた投票所以外でも投票できる投票所です(設置するかどうかは、自治体の判断によります)。駅の構内やショッピングセンター、学校などに設置することで、投票率の向上が期待されています。今夏の国政選挙から適用される予定です。



Q2.

もし、駅やショッピングセンター等に『共通投票所』があった場合、
あなたが選挙へ行く(投票する)頻度は、今と比べてどうなると思いますか？(択一回答方式)

